



IT関連企業による 「沖縄力発見ツアー2015」

松本内閣府副大臣

～ 沖縄への投資促進や 新たな産業の 創出・振興を目指して～

内閣府では、12月10日から11日にかけて、県外のIT関連企業の代表者等の方々に沖縄の優れたビジネス環境等を実感していただく、「沖縄力発見ツアー2015」を実施しました。

今回のツアーでは県外企業24社が参加し、ファーストライディングテクノロジー株式会社や沖縄科学技術大学院大学、沖縄工業高等専門学校等の視察を行うとともに、沖縄IT津梁パークと名護市みらい館では入居企業等と意見交換を行いました。

ワーキング・ディナー

県外から参加された企業の方々と、松本内閣府副大臣、沖縄県庁、県内経済界関係者等の方々が一堂に会し、ワーキング・ディナーを実施しました。各参加者は、県内企業、大学・研究機関や業界団体等との情報交換を行い、相互の交流を深めました。

視察

ファーストライディングテクノロジー株式会社においては、同社の事業概要の説明を受け、実際にデータセンター内の見学をしました。

また、沖縄科学技術大学院大学においては、同大学の概要や産学連携の取組紹介のほか、研究施設等を見学するキャンパスツアーを行いました。

国立沖縄工業高等専門学校においては、同校の概要や取組実績紹介のほか、学生による活動報告がありました。アメリカの学生との交流やドローン制御システムの開発についての報告が行われ、参加企業から多くの関心が寄せられました。

沖縄IT津梁パーク及び名護市みらい館での意見交換

沖縄IT津梁パークにおいては、

入居企業を含む県内立地企業4社によるプレゼンテーションが行われ、沖縄県で事業展開する利点や人材育成の取組み等についてお話がありました。

また、名護市みらい館においては入居企業1社からプレゼンテーションが行われ、「人材確保は困難か」との参加者からの質問に対し、「情報系は慢性的な人材不足である。しかしながら、沖縄の方は地元愛が強く、本土に就職しても勢いのついた30代頃にUターンする傾向があるため、その方々をリーダーとして採用することも有効である。」といったお話がありました。



沖縄IT津梁パーク内での説明風景



ワーキング・ディナーにおける意見交換

ツアー参加者からの声

ツアー参加者からは、
▽沖縄の立地的魅力や海底ケーブルの新設などのポテンシャル、国や県からの全面的なバックアップ制度など、今後の発展性を様々な角度から見る事ができた。
▽所得税控除や投資に対する補助金が魅力的である。
▽今後沖縄はますます発展していくかと思うが、その反面、今までの良き自然や文化が減少するリスクも感じている。共存できる産業の発展を期待している。
といった意見がありました。
内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーをきっかけとしたビジネス展開の支援や、様々な方々のアドバイス、ご指摘を今後の取り組みに活かしていきたいと考えています。